

平成 30 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会 離島・へき地部会議事要旨

日 時：平成 30 年 10 月 16 日（火） 16：30～18：10

場 所：琉球大学医学部附属病院 がんセンター

構 成 員：12 名

出 席 者：4 名

戸板孝文（中部病院）、赤松道成（北部地区医師会病院）、荻堂麻紀子（沖縄県保健医療部健康長寿課）、増田昌人（琉球大学医学部附属病院がんセンター）

<スカイプ参加> 6 名

松村敏信（宮古病院）、平良弘子（宮古病院）、尾崎信弘（八重山病院）、平良美江（八重山病院）、真栄里隆代（ゆうかぎの会）、田盛亜紀子（やいまゆんたく会）

欠 席：3 名

朝倉義崇（中部病院）、友利寛文（那覇市立病院）、我如古春美（北部地区医師会病院）

陪 席 者：2 名

吉田幸生（中部病院）、山田綾美（琉球大学医学部附属病院がんセンター）

【報告事項】

1. 平成 30 年度第 1 回離島・へき地部会議事要旨について
資料 1 に基づき、平成 30 年度第 1 回離島・へき地部会議事要旨が承認された。
2. 委員名簿及び部会長、副部会長について
資料 2 に基づき、沖縄県保健医療部健康長寿課の荻堂麻紀子委員の追加が報告された。
3. 部会の年会計画及び活動方針スケジュールについて
前回決定した最終アウトカム・中間アウトカムについて報告された。今後、中間アウトカムの指標を決めていくこととする。

【協議事項】

1. 今年度の部会計画について
資料 3-2 の上位 10 項目の疾患について宮古、八重山、北部でどこまで自己完結ができるのか、外科療法・放射線治療・薬物療法ごとに議論があった。議論内容については別紙（図 1）にまとめることとする。

- ① 大腸がん
 - 【北部】 ほぼ自己完結している。
 - 【宮古】 自己完結。ただし腰椎転移や脳転移のR Tは本島へ。
 - 【八重山】 ほぼ自己完結。
- ② 乳がん
 - 【北部】 8～9割が温存治療。術後R Tは中部病院へ。
2週に1回、大学病院より乳腺専門医に来てもらっている。
 - 【宮古】 術前後R Tは那覇へ。手術・化学療法実施。温存療法センチネル可。
 - 【八重山】 センチネルを実施できる医師不在。手術・放射線治療は本島へ紹介。
- ③ 肺がん
 - 【北部】 肺外科医が0名。手術は他施設へ。化学療法は実施可。
 - 【宮古】 手術・R Tは沖縄病院へ。診断・化学療法は実施。
 - 【八重山】 診断・化学療法は対応可。月2回の出張医（呼吸器外科）。
呼吸器内科常勤2名。
- ④ 胃がん
 - 【北部】 自己完結している。早期がんESDに関しても自己完結。
 - 【宮古】 自己完結
 - 【八重山】 自己完結している。
- ⑤ 前立腺がん
 - 【北部】 泌尿器科医0名。大部分は大学病院へ紹介。
 - 【宮古】 常勤1名。外科と合同で手術。
 - 【八重山】 退職後の嘱託医師1名。かなり切迫した状態。
- ⑥ 子宮がん
 - 【北部】 婦人科医0名。
 - 【宮古】 大学病院へ紹介。
 - 【八重山】 手術・化学療法は対応できている。専門医は1名で標準治療は対応可。
- ⑦ 皮膚がん
 - 【北部】 常勤1名。化学療法・R T必要なら大学病院へ。
 - 【宮古】 週1回の応援外来。
 - 【八重山】 化学療法・R Tは那覇へ。対応できる範囲で対応。
- ⑧ 肝・肝内胆管
 - 【北部】 自己完結。手術・化学療法実施。術前R Tは中部病院へ。
 - 【宮古】 手術・化学療法は実施。R Tを要する場合は本島へ。
 - 【八重山】 専門医2名で標準治療は対応可。

⑨ 腎・尿路がん（膀胱除く）

【北部】泌尿器科医が必要。

【宮古】南部医療センターとの兼任医。現在連携はとりやすいが、いずれ不在に。

【八重山】専門医が必要。前立腺がんと同様の状態。

⑩ 膵臓がん

【北部】自己完結。RTを要する場合は中部病院へ。

【宮古】手術・化学療法は実施。RTを要する場合は本島へ。

【八重山】手術・化学療法は実施。RTを要する場合は本島へ。

⑪ 食道がん

【北部】腹部食道のみ対応。その他全例は他院へ。

【宮古】食道胃接合部がん以外は全例本島へ。

【八重山】食道胃接合部がん以外は全例本島へ。

前後の治療に関しては受けることもある。

⑫ 血液がん

【北部】一部は開業医により化学療法。その後、中部病院へ。

【宮古】急性期は全て送る。治療後の維持療法は実施。

【八重山】宮古と同じ状況。

<目指すべき人的配置>

- 乳がん：非常勤に確実に週2回は来てもらう。
- 皮膚がん：最低週2回来てもらうことが望ましい。集約化させる。
- 肺がん：呼吸器内科医は確実に確保する（1～2名）。
- 消化器科：複数名の消化器外科医の確保が必要である。
- 泌尿器科：1名の確保が必要である。

2. 地域がん登録の利用申請依頼について

資料4に基づき、増田委員より地域がん登録の利用申請について、沖縄県へ依頼し、データを頂いたと報告があった。

3. 次回の開催日程について

次回の開催について、2つの日程候補があがっていたが、後日、メールにて調整することとなった。

4. その他

田盛委員より、渡航費助成制度について検討の依頼があった。萩堂委員より、関係課へ持ち帰り情報共有を図るとのことであった。

増田委員より、次回の部会までに、資料 3 について、がんの認定を持っている医師の詳細を整理するとの報告があった。

次回の部会で資料 3 や図 1 を基に、ロジックモデルへ整理することとなった。